

瀬戸内中讃定住自立圏 協働のまちづくりセミナー

「地域おこし協力隊がまちを変える！～協働のまちづくりへの期待～」

参加者アンケート集計表 【関係者 13 人 参加者 88 人 回収数 81 件 回収率 92%】

令和 5 年 12 月 22 日（金）

1.本日のセミナーをどのようにお知りになりましたか。(☑ はいくつでも)

	件数
市や町の広報誌	5
市や町のホームページや SNS	5
チラシ	5
関係者からの情報	15
知人などから聞いた	6
研修の案内があった	53
その他	3
合計	92

その他

- ・市からのメール
- ・偶然マルタスで発見した

2.セミナーに参加された理由を教えてください。(☑ はいくつでも)

	件数
地域おこし協力隊に興味があった	18
まちづくりに興味があった	25
活動報告の内容に興味があった	20
パネルディスカッションに興味があった	4
研修として参加した	51
協働について興味があった	13
その他	4
合計	135

自由記載欄

マルタスで偶然発見し、20分程度しか滞在できませんでしたが参加させていただきました。大変興味深く、拝聴できないことがとても残念です。現在、観音寺市の協力隊を務めています。このような場を持たれていることがすでに素晴らしいと思います。観音寺市での活動に

についてもお伝えできる機会があればと思っております。

マルタスにて活動していることは営利目的でないので、地域の方、地域外の方に広がっていくことを願っている。

私にとって未知の世界であり、どういうものかと教えてもらおうと思い参加させていただいた。

3. セミナーの内容について教えてください。

	件数	(%)
大変参考になった	41	50.6
参考になった	30	37.0
参考にならなかった	2	2.5
無回答	8	9.9
合計	81	100.0

4. セミナーで印象に残った内容や、感じたことなどを教えてください。

内容を拝聴することができませんでしたが、本日の資料を基に、中讃協力隊のご活動を拝見させていただきます。応援しております。

琴平町の取り組みについて知らないことも多かったので知ることができてよかったです。

あるものを生かすというキーワードが印象に残りました。

継続がとても大切だと思います。

善通寺市の取り組みの仕方が興味深かった。協力隊と行政の関係性、動き方が参考になった。

自分自身知らない活動が多くあり、もっと広めていきたいと感じた。

地域おこしには10年かかるということで、そこにつながるように地域に関わっていくことを考えていきたいと感じました。

善通寺市の活動内容がとても洗練されていた。

琴平町は国際交流とまちを連携しながら取り組んでいる。

「万人受けしなくても、数人のヒットがあれば成功」という原先生の言葉が印象的でした。

活動期間が短期の中だが、地域のために活動しているのだなと感じた。

王さん、葉さんの地域おこし協力隊でのご経験がとても興味深く、尊敬しながら拝聴させていただきました。

その地域が持っているものに着目し、様々な人の意見を取り入れ、寄り添うことでよりよいまちにつながるのだなと感じた。この場所には何も無いから何か作ろう、ではなく今既に持

<p>っている魅力を探し、活かすことが大切だと考え方が変わった。</p>
<p>活動報告について、様々なものがあり、自分の視野が広がったように感じました。</p>
<p>活動されている方がすごく楽しそうな印象を受けました。住民が気付いていない、埋もれた魅力的資源に気づいてもらえるきっかけになると思いました。協力隊の事業である、「あるものを生かす」ことは地域の活性化の大事な視点であると気づけました。</p>
<p>地域おこし協力隊の存在を知らなかったので、活動内容が聞けてとてもよかったです。</p>
<p>地域おこしの意義を知ってもらう必要性を感じた。</p>
<p>人と人のつながりが地域に刺激を与え、変化を生むのだと改めて感じた。自分はずながるのが苦手だが意識していきたい。</p>
<p>台湾に行ってみたいと思った。</p>
<p>現在の地域おこし協力隊の活動が、次の協力隊に受け継がれることが重要であるが、大きな課題でもあるかなと感じました。</p>
<p>地域おこし協力隊について知ることができてよかったです。様々な活動をされていることを初めて知りました。</p>
<p>台湾のルーローファン食べたくなりました。琴平の夜市行きます。</p>
<p>協働には10年は必要。</p>
<p>「地域おこし協力隊」について初めて知りました。協力隊の力で、ではなく、地域の人たちの力で地域おこしができる体制はできないもののでしょうか。</p>
<p>他市町の地域おこし協力隊との活動がとても参考になりました。</p>
<p>魅力をアピールする方法としてSNSを活用し、発信者としてインフルエンサーを活用する。</p>
<p>近隣市町で意外に積極的に地域おこしをされていて驚いた。</p>
<p>まず動くことが大切だと改めて感じました。</p>
<p>いろいろなアイデアがあるのだと感心しました。国際交流も協力隊でできるんですね。知らないことが多かったです。協力隊は名前を聞いたことがあるくらいで活動の内容などは知らなかったのですがいろいろ知れてよかったです。</p>
<p>実際に活動されている隊員の話聞いて良かった。</p>
<p>地域おこし協力隊の皆さんがどういったことをしているのか全く知らなかったですが、今回の話を聞いてとても興味がわきました。</p>
<p>協働のまちづくりのキーワード（あるものを生かす）。マンネリ化にならないようにしていく。何もしなければ人口減少になってしまう。一人一人ができることを続けていくことが必要である。</p>
<p>何をやっているのかさっぱりわからない。</p>
<p>具体的な応募や申請の説明がなかった。</p>
<p>寒い時期パネルディスカッションの前にトイレ休憩が必要。</p>

協力隊の生の声が聞けてとても参考になりました。
地域おこしについて、海外の人々が積極的に関わっていることに驚いた。異文化交流は、地元の文化と離れているが故に、より一層成果がはっきりした形で生まれるのではないだろうか。人と人とのかかわりは何にも増して大切だと思う。
他市の活動や、その活動の成果がどのようなことをもたらしたのかを知ることができてよいと思った。
丸亀の商店街でも夜市してほしい。町おこしには住民の関心・協力が絶対に必要なので市外へのアプローチと市内へのアプローチのバランスが難しそうだった。
地域おこし協力隊の期間は、たった3年。発展していくのは難しいのでは。ちょっと進化していったなと思ったところで任期終了、もっと長期間活動したほうがいいのではないだろうか。
自治体職員として、地域おこし協力隊の方の視点でのまちおこしへの考え方が興味深かったです。
地域担当職員として、行政的目線だけでなく、地域おこし協力隊の方のように自身のパーソナリティを前面に押し出して地域づくりに関わっていくべきだと感じた。
聞くだけでなく質疑応答の時間を多くとってほしい。
地域おこし協力隊の具体的な活動内容を知ることができてとても有意義だった。
琴平の国際交流において、外国人からの発案など大変参考にさせていただいた。

5. 「協働」という言葉を知っていましたか。

	件数	(%)
内容をある程度知っていた	47	58.0
内容はわからないが知っていた	16	19.8
知らなかった	12	14.8
無回答	6	7.4
合計	81	100.0

6. 「協働」は、まちづくりに有効だと思いますか。

	件数	(%)
有効だ	44	54.3
有効な場合もある	27	33.3
有効でない	0	0.0

分からない	5	6.2
無回答	5	6.2
合計	81	100.0

7.6で「有効だ」「有効な場合もある」と回答された方は、その理由を教えてください。

多くの価値観や背景を持った人が集まることで、よい活動につながると思うから。
単独でモノ、コトを作るより、複数で行うことに力があると思います。
PR等、市には難しい部分もあるので力強いと思う。
課題解決のためには、様々な人の意見、知識が重要だと感じるため。
立場の違いで意見や考え方が異なり対立するよりも、協力してすり合わせていくほうがうまくいくと思うからです。ただすべて協力する必要性はないと思うので、その場面ごとに判断していくのがいいと思います。
新しい取り組みが生まれると考えるから。
新しい発想が生まれるため。
同業種では解決できないことや、広く波及していかないこともあると思うので、それぞれが意見・情報を共有することは大切だと思う。
お互いの得意な部分、不得意な部分をカバーし合うことができる。
協働という観点からいえば、地域住民が中心的役割を果たしていくべきかと思う。協力隊の皆さんは地域の方々との接点として頑張っていると思うので今後のご活躍を期待しています。継続するのが一番大変です。
多種多様な考えが出るため、効率よく問題解決に近づけると思うから。
いろいろな視点から方策を考えることができる。協働することで思いがけない発想が生まれる。
まちづくりは一人ですることではできず、様々な人が関わって作り上げていくものだから。
パネルディスカッションで、登壇者の方々が自分の経験を踏まえてお話しされている様子から、人が集まり、知識・経験を共有しながらまちづくりについて考えることは意義があることだと感じたからです。
様々な人が関わることで、多方面からその地域の魅力や課題に気づくことができるから。同じ立場の人だけではできることが限られるから。
すべてが成功するものではないと思いますが、新しい視点、着想により、何かしらまちに住む人々への影響（プラスになるもの）はあるように感じたため。（今回の報告内容より）
個人で成果を出すには限界がある。協力すれば可能性が広がる。
立場が違えば様々な視点で物事が見られるということなので、よりいい成果（作品）ができて

<p>と思うから。</p>
<p>多様性の確保により、新たなアイデアが生み出せると考えます。</p>
<p>自治体、行政ができないこと、または行政以外の人や団体がまちづくり、地域おこしをしたほうが有効な場合があることや、ほかの地域からきて活動することで地元に住む人にも影響を与え、元気になると思う。</p>
<p>いろいろな人が協力してできるから。</p>
<p>得意不得意を補うことができると思います。</p>
<p>場合によってはすごく効率が良くなるのではないか。</p>
<p>協働とまちづくりはイコールだと思いました。</p>
<p>一人では何もできないので。</p>
<p>今回の事例を聞き、有効な場合もあると感じました。</p>
<p>考え方や判断基準が異なる者が集まって、共通の目的を達成するのに、効果的でもあり難しくもあるので。</p>
<p>助け合いが一番。</p>
<p>様々な目線でできる。協力して行うことで違ったことができる。</p>
<p>協働の前提条件である同じ目的・課題を地域おこし協力隊の受け皿となる人・場所がきちんと調整できれば有効である。</p>
<p>産官学民連携で何事もやっていくべきである。</p>
<p>企業と行政が同じ方向に向いて進めればとても良いものができると思いました。</p>
<p>一人では活動に限界があるから。</p>
<p>職種、年齢、立場の違う方が、まちづくりのため同じ目的を持ったり、見直したりしてプラスになるような刺激になっていくだろう。</p>
<p>いろいろな人が住むまちなので、いろいろな人が意見を出して作ったまちが、より住みやすいと思う。</p>
<p>助け合える。</p>
<p>取り組む内容によっては効果を発揮することもあるが、まとまりがなくなることも考えられる。先導する人、意見を調整、取りまとめをする人が重要な役目を果たすので、協力し合う人が重要だと思う。</p>
<p>行政だけの立案や事業は限界に近い。多様な主体の連携が当たり前となりつつある。</p>
<p>丸亀市とNPOでデマンドタクシーの協働事業を行ったことがあります。</p>
<p>地域おこしは、住民の意識と役所と隊員が一致して働かないとうまくいかないと思う。隊員が中心となってチャレンジしてほしい。</p>
<p>立場の違う人たちが集まることによって、様々な視点から物事を見ることができ、よりよいまちになると思う。</p>

様々な背景や経緯を持つ人が寄ることによって、意外な展開が生まれ、成功に向かうのではないか。

行政次第。

職員では浮かばない発想や行動力がある。

市職員と市民の間を取り持つことができる。

有効だとは思うけど、まだよく理解できていない。

官民協働は有効だと思うから。

民間と行政との協働でどちらかだけでは達成できないことも達成しうることがあるため。

まちづくりの原点に立ち直ることができる手段の一つだと思う。あるものを生かす意識の醸成が必要な時期が到来している。

9. 今後、まちづくりに関する講座やワークショップがあれば参加したいですか。

	件数	(%)
参加したい	62	76.5
参加したくない	4	4.9
その他	5	6.2
無回答	10	12.4
合計	81	100.0

その他

- ・ 講座やワークショップの内容によっては参加したい。
- ・ 日程、内容による
- ・ WEB 会議
- ・ まだ理解できていない

10. 今後のセミナーで、まちづくりに関して希望するテーマがあればお聞かせください。

地域通貨の有効性について。

既存の規制の見直しについて。

中讃地域で台湾夜市やってください。

地域づくりの成功例を全国規模で知りたい。

自分発見を考えるテーマでお願いしたい。

離島の地域づくり。

丸亀市として一つの問題（地域課題）を、協働を使って話し合うセミナーがあると、セミナーの中でよい案が出て解決へとつながりやすくなるのではないかと思います。

まんのう町・善通寺市・琴平町の話はしっかり聞きました。素晴らしい市だと思います。ところで今後丸亀市は地域おこし協力隊を取り入れていく予定ですか。

「若者の定住（定着）」そのためには、収入源となるものが必要。特に島しょ部は、喫緊の問題！

市民の「こうすればいいのに」「こういうことをしてほしい」を引き出せるワークショップがあれば、行政と市民の考え方のギャップが明確になってよさそう。市内だけ、市外だけが楽しめるまちづくりではなく、市内が楽しめて、市外も巻き込めるまちづくりができたらよいと思う。

無知なのでまだよく理解できていないので今すぐには思いつかない。

地元愛を持った人材育成から発出するまちづくり。